



## 水稲の収穫後の 次年度に向けての 取組み

### ●多年生雑草の防除 防除のポイント

近年、圃場に多発している多年生雑草のオモダカ、クログワイですが、本田で散布した除草剤の効果が薄れる頃に塊茎を形成させ、肥大させ翌年の発生源を作ることが多い。このような難防除雑草を減らすためには、本田で効果のある除草剤の散布に加え、翌年に発生する塊茎を減らす対策をします。

#### 多年生雑草



オモダカ



クログワイ

#### 対策①「秋耕し」

塊茎は乾燥や寒さに弱いいため、秋耕しをし、地中にある塊茎を地上に出して枯らします。完全に無くなるわけではありませんが、翌年の塊茎の発生量を減らすことができます。

#### 対策②「刈跡除草剤散布」

収穫後、茎葉から根までの浸透移行して地下部まで枯らすことのできる除草剤(ラウンドアップ)の散布をします。塊茎を肥大させず枯らすことができます。

### 除草剤ラウンドアップの水稲刈跡散布のポイント

50倍液を散布してください  
107〜10あたり  
容量:1000ml  
水量:50l

生育期 (8月) → 生育停止 (10月) → 稲刈 (11月)

■ 収穫時期が早くしかも温暖で、クログワイの再生が見込める地域  
■ 収穫時期が遅くしかも低温でクログワイの再生が緩慢な地域

#### ●土壌改良資材の散布

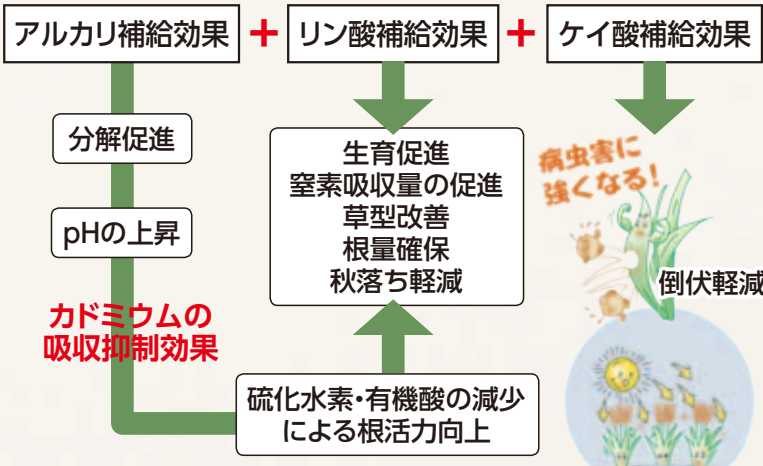
湖北の土壌は、水稲に必要なケイ酸の低い水田が増えているのが現状

光合成能力の低下や収量低下

酸化することにより、カドミウムを吸収しやすくなる

カドミウム吸収抑制するには、土壌pH6.5以上維持し、継続的なアルカリ資材の投入が必要

## 土壌改良資材の 効果



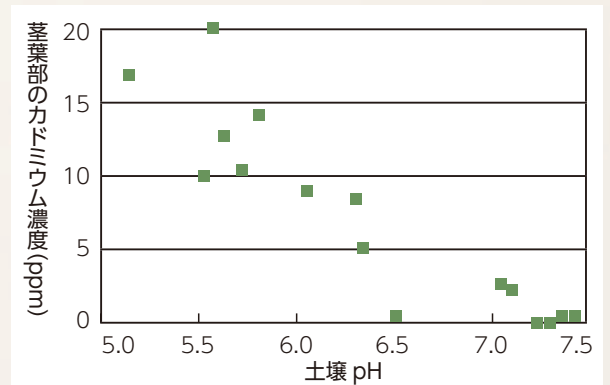
受光態勢がよくなり、光合成が盛んになります。

品質向上と 安定生産を 目指す!!



JALレーク伊吹の土づくり資材  
田華の豊稲の粒剤(左)と砂状(右)

基準施用量  
60kg ~ 100kg / 10a



土壌中の pH が高いと水稲の Cd 吸収は抑制され、pH6.5 以上ではほとんど吸収されない。